

きたかみ入門(6回目) 通信

冬の防災教室～実践編

2015年2月6日(金) 13:30～15:00
北上市生涯学習センター「第1学習室」

参加者 18名

2015年2月6日(金) 北上市生涯学習センター第1学習室にて、第6回きたかみ入門を開催しました。

今回のテーマは

「冬の防災教室～実践編」

講師：岩手県環境アドバイザー 佐井守さん

内容：

- ・身の回りの危険な動植物を知ろう
- ・自然観察などアウトドアレジャーの技術を応用した防災対策を知ろう
- ・河川での救助や身近なものを使った要救助者の運搬方法を体験しよう



身の回りの危険な動植物について



魚取り網を使って、6人で男性を持ち上げる！

実践を交えながら大変わかりやすく解説していただきました。

佐井さん、ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。

●ふりかえりカードより

○今、園で防災マニュアルづくりをしているので、さまざまな情報を知ることができて良かった。自分自身ずっと都会の中で育ててきて自然に対しての偏見を持っていると感じた。実際に体験したりしながら、自分の幅を広げていきたい。

○お人柄が良く、聴きやすかったです。たくさんの方にお伝えしたい内容でした。ありがとうございました。

○災害のための対応の実践を行った救助法は役立ちそうだが、その現場に遭遇したくはない。身の回りの危険な生き物など参考になった。

○救助の方法は一つではないということ。その場、その時に合った判断をして救助（いざという時に）できるようにしたいと思いました。また、実践による救助法、とても勉強になりました。

○当たり前を過ごす北上は実は災害が多い地域と知り、びっくりしています。普通と変わらないで周りを見回し、災害に備えていかなければと思いました。何が危険で何が安全かを見極める目が必要。北上は自然がたくさんなのだが、また自分としてはとても自然に触れているつもりでしたが、まったく触れていないのに気が付きました。ぜひこの講座の実践編の続きを開催してほしいです。

○日本で起こる災害についてはニュースなどで情報が入ってきますが、北上市の災害は何があるか情報も少ないような気がしますし、あまり考えたことがありませんでした。自分が住んでいる地域の特徴を知り、どのような災害が起こりやすいのか知ること「備える」ということに必要なことだと思いました。幼いころから実践を踏まえた防災教育を行うことが大切だと思いました。とても勉強になりました。ありがとうございました。

○今回、身近な危険と防災について参加し、災害とは？から自分の中での知識を増やすことができ、嬉しく感じています。また、洪水について深く知ることができて良かった。ありがとうございました。